

旧新今宮小中学校跡地に

釜ヶ崎生活センターを。

子どもも大人も 困っている

釜ヶ崎には子どもたちの遊び場もなく、労働者（大人）もまた憩える場もない状態です。いろいろな問題が重なりあっています。子どもたちへの影響も多大です。

それはまた、地域の住民・労働者にとって多大な問題だと思っています。

生活センターとは



新今宮小中学校は釜ヶ崎のための学校でしたが、現在は廃校となっています。

いま必要なのは、この地域にある問題を、地域で生活する人々が中心になって見つめ

解決してゆくことではないでしょうか。

例えば、天王寺公園で六ヶ月も野宿を強いられた父子がいます。この父と子はこんな困難な時にも一緒にいたいという願いの為に、民生の援助から外され、野宿を強いられたのです。この親子には、自立できるまで、緊急に宿泊でき、その生活権と子供の学習

土方のおつさん

総理大臣よりえらびで...

土方のおつさん、総理大臣よりえらびで、あんなこと二ことせつとるんやな。酒のあのもわかるわ。この言葉は、昨年、今宮中

権が保障される場が必要だったのです。

また、幼少期より背負われてきた様々な家庭問題の重さに耐えられず、さ迷い歩いていく若者達にとって、自分を見つめ、新しい自分を発見していく場が必要です。

或は、生活一般の相談、スポーツ設備、また図書館なども学習の場として必要だと考えています。

これらの諸活動を通して、バラバラにされた私達の釜ヶ崎をきり一度、地域の住民、

労働者、子どもたちの共同体として築き上げたこと願っています。

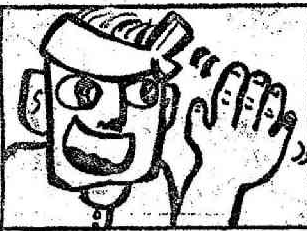
私達は、個々の子どものかかえる問題の相談にとりくみ労働者とともにこの地域を理解し、子どもたちと大人がどう生きてゆくかを学びあえる場として、生活センター、

が必要だと考え、新今宮小中学校跡地での実現において、微力ながらも努力を積み重ねていきます。みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

...
誇らしくに帰って来て、あふれる様に話してくれた言葉です。

この二人の少年の体験は、釜ヶ崎における大人と子どもとの関係の最も基本的な事を教えてくれました。

それは、子どもは誰を見て



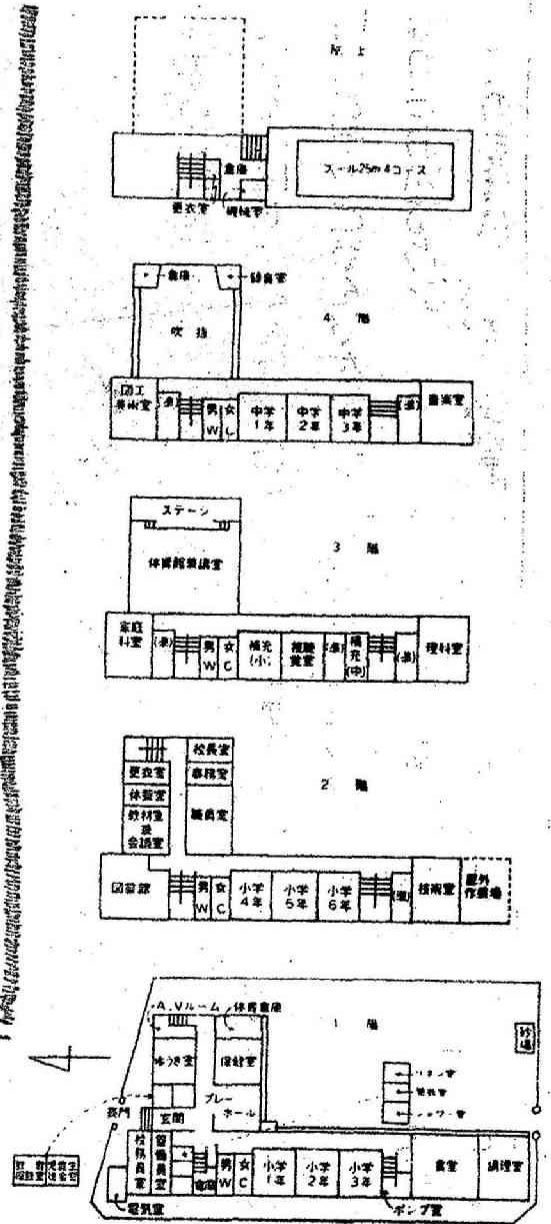
生活センターを!

又、何を見て育って行くのか
とこのことです。
他でもなく釜ヶ崎の労働者
を見て育って行く、労働者に
よって育てられるという
です。
子ども達にとって、釜ヶ崎の
中では、風間陣を組んで道
端々公園に坐り込み、酒をの
んでいる姿や寝こけている
姿、パチンコやギャンブルを
している姿が見えませんが、
しかし、それは一面にしか
すぎず、同じ人がバリバリ仕
事をする偉い人なのだと思っ
ていました。
労働現場にいる労働者に接
するこの大切さを教えてく
れたのです。
この驚き、そして尊敬は、
今の学校教育では決して与え
るこの出来なし世界のもの
だと思えます。

子ども達の声を大人に
大人の生きたまきぶりに
まき、釜ヶ崎に他の社会に
ないもの、こかき、新しい人
間関係をつくる力があること
れば、この少年達と労働者の
出会い以外の何ものでもあり
ません。
子ども達の声を間接的に労働
者がきくのではなく、直接
聞くへ交流の場が必要なの
です。
まき少年達のこの言葉を直
接、釜ヶ崎の労働者にぶっ

けたらどうなるでしょうか。
少年達から頼りに汗して働く
者へのこの尊敬の言葉を聞く
時、まきと労働者は励まされ
また自分を問い直し、そして
あらためて自己の労働を誇り
えるものと感じることがあり
しません。
「子どもの声を大人に、大人
の生きたまきぶりに」その場
として、生活センターづくり
が今必要だと思えます。

生活センターには、生活
一般の相談室・スポーツ活動
・図書館・子ども会活動の場
親子の緊急一時宿泊所・高令
者セ「降参」者のための作業
場も設け、「みんなが協力し
合って生きていく私達の街づ
くり」の足がかりにしたいと
思っています。
釜ヶ崎に生まるすべての人
々が語り合い、理解し合って
釜ヶ崎がかかえる様々な課題
を解決していく一歩として
生活センターの構想につい
て、考えて下さい。表住所



生活センターづくりに対する
ご意見・ご感想を
おきかせ下さい。表住所

旧新今宮小中学校跡地に 釜ヶ崎生活センターを。

労働者の街の 子ども達を...

労働者の街・釜ヶ崎。とても
くいいれませんが、その街の辻
々で、商店街で、公園で、子
ども達の姿を見かけることも
多いと思います。

お菓子屋さんやゲームセ
ンターには、この子ども達
達の姿があふれます。

このお菓子屋やゲームセ
ンター、イストリームが夕食や風のこ
飯のかめじだったり、家に帰
って話合の手がいなこのこ
とから夜遅くまでゲームセン
ターに居る姿も、それぞれに
事情があるようです。

私たちが暮らす街にはある

「お菓子屋の裏」のこのUJIN

で、週二〜三度、子ども達
と習字の練習をしています。

練習の前後、女の子たちは

上の部屋で着替えるのだけ

で、その場は大人お菓子の交

換々分配せらるるにぎわって

ます。時間は夜七時前後、夕

食を終えるような時分です。

(我家で仕事から帰る忙い

で、簡単な食事を買袋に詰め

込んで出歩くのでしたか。)

食生活に不安...

夕食をいつまでかこらば

ほんのわずか。二〜三人をこ

らでこらへるか。練習前のわず

かの時間に、近くのホルモン

屋まで行くんですよ。

「書」が
作って下さい。
お願ひします。

旅路の里へハガキで書信

感想・意見

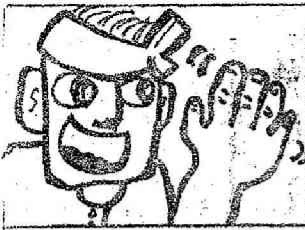
釜ヶ崎生活センターを
創り出す運動について
ニュースの記事につ
いて、「意見」「感想」
を、お寄せ下さい。

共育の場としてセンターを

概してセンターの子ども
達に、これは体のためになる
んせから、「こらへるか」にええか
お菓子屋さんやゲームセ
ンター、イストリームが夕食や風のこ
飯のかめじだったり、家に帰
って話合の手がいなこのこ
とから夜遅くまでゲームセン
ターに居る姿も、それぞれに
事情があるようです。

親達には、仕事の都合で
ろって食事ができなかったり、
用意をするのも「こんど」状況
にあったりする人も多い中で、
子供たちは、一番大事な時期
に、食事を充分にこらへることが
あつかいくなっています。

「共育の場としてセンターを」
概してセンターの子ども
達に、これは体のためになる
んせから、「こらへるか」にええか



釜ヶ崎に對する「蔑視」を!

釜ヶ崎に對する蔑視を

覆すための運動として

大正区や浪速区で、日雇労働者の宿舎(飯場)の建設に對して反對運動がおこなわれていきます。

我々の町をスラム化から守ろう。渾美工務店の独身労働者専用宿舎建設反對。三軒家東地区環境を守る会。

安心して子育ての出来る町を残すまじやう。神本組工業単身者宿舎建設絶対反對。久保吉環境を守る会。

建設予定地の周囲にはこのような内容の立看板やステッカーが貼りめぐらされていきます。

また、正森成二衆議院議員(日本共産党)の事務所の二

コース(八五年オ一九号)には、先づ、浪速区久保吉町に、建設業者の神本組が環境悪化につながる日雇労働者を宿泊させる五階建ての寮を建設するといふ問題がおこっています。

一略一正森成二衆議院議員と中井義明党浪速区委員長はさっそく、現地を調査、住民を激励していきま

す。釜ヶ崎には単身の労働者が多いのは事実ですが、そのとき、ことさらに取り上げて、単身者は家族という歯止めがないので、精神的に不安定で

なにかでかすかめからない存在として、釜ヶ崎のすべての

労働者を犯罪予備軍と見て、自分達の生活圏から排除しようとするのは、ゆきすぎというべきであり、釜ヶ崎の労働者に對する差別ではな

らぬで、よいか。世間に釜ヶ崎に對する蔑視がある限り、釜ヶ崎生活センターはそれを覆すための場としての役割をこなさねばならぬ。これを覆すためには、親の肩がわりをするのではなく、そばに居る人が、それを教えてやったり、注意したり。

労働者が「生活センター」を軸として新しいコミュニティを創り出し、いつもは見えないところにちがちな生活者としての側面を浮かびあがらせる時、世間の釜ヶ崎に對する見方もかわってくると思

います。生活センター、賛同署名の第一歩集約では、全国から一万人を超える署名が確認されています。地元からの協力を

「表面不殺(じ)」の言葉を、今(いま)と「い」のよき事を、今の釜ヶ崎の状況では、個々の家庭でそれをやるのはおぼつかしい面もあり、全体として、街全体として、その事を考え

ていかざるをえないように思っています。

母親や父親がいなくても、そばに居る人が、それを教えてやったり、注意したり。親の肩がわりをするのではなく、その時に出来る人が、必要に応じてやるんだという、そんな積極的なかわりのできる場が必要なのではないでしょうか。

明日へつなぐ子ども達と大人が、積極的ににかかわる事によって未来へつながる場としての「生活センター」創設に、ご協力をお願いいたします。

(佐川みどり)

(佐川みどり)

釜ヶ崎生活センター創りに

地元の皆さんのお力添えを!

8月・10月のニュースでお知らせしたように、私達は昨年、新今宮小中学校(一九八四年春廃校)の跡地利用と取り組んで来ました。いろいろな設備の整った学校跡を、地域の子どもと大人が一緒に利用できる教育と生活の場にしようとしてまいります。

その意志表示の一つとして署名運動をして来ました。先生達の署名約五千分をはじめ、釜ヶ崎の白屋労働者の四千五百人分、さらに、沖繩から北海道まで、全国のあちらこちらで協力して頂いた七千人分、また、部落解放運動の中で取り組まれた千人分の署名など、計一万七千人分の

協力を得ることができました。だがしかし、署名運動を進める中で私達は、地元のみならずの理解を得て、協力して頂くことが、なにもままとして大事なことだと気付きました。そこで、第二次、第三次の

10月7日、昨年来集めて来た「新今宮小中学校跡地利用」のための第一次署名を大阪市に手渡しました。署名の合計は一万七千五百八十三です。この席に、大阪市からは、教育委員会と民生局勤務市民課の代表が出席し、西成区からは区長がオプザーバーとして参加してまいりました。

署名運動を、私達の運動に対する理解をより深めて頂く一の方法として、地元で取り組むことにしました。

署名用紙をもつてうかがいますので、その時には、疑問の点などをあたずぬの上、是非、「協力ください」より「お願い申し上げます」の改地には、萩之茶屋小中学校の改

わたしたちの方からは、「この署名運動の中心になった大阪市教職員組合本部および南

築工事のため、来年の夏まで、萩之茶屋小中学校の仮校舎として利用されていきます。跡地利用が本格化するのにはそれ以後です。

私達は、来年の秋には、地域の子どもと大人が喜んで「跡地」を利用できるように、準備していきたく願っています。みなさんのご協力を、心からお願ひします。町内会などでもご検討下さい。

「この声よ届け! 東丸!」
第一次署名提出
大阪支部・全港連建設支部西成分会をはじめ総評西成地協関係者と釜ヶ崎で運動をすすめていこう「生活センターを創

釜ヶ崎

▲面積 0.67k㎡

▲人口 約4万2千人(内日雇労働者2万2千人)

▲公園面積

救之茶屋南	2,710㎡
中	1,575㎡
北	833㎡
花園	3,406㎡
合計	8,527㎡

一人当り公園面積

釜ヶ崎 20平方センチメートル

大阪市平均 1.01平方メートル

大人と子どもと児童公園

悟君と裕志君の死は何故?

「カギっ子二人踏切死」父子
家庭ノ身元五時間わからず
関西線遮断機くぐり抜け
昨年6月26日、朝日新聞で

このように報じられた事件は、
みなさんの記憶にまだ新しく
いのではないですか。

父親参観日の代休日であつた6月26日、救之茶屋小学校一年生の悟君と四年生の裕志君が、天王寺公園に遊びに行き、その帰り道に、この悲しい事故に会いました。

子ども達の里にもよく遊びに来ていた二人の変わり果てた姿の前に、私達は、なぜこんな事故がおきたのか、おきねばならなかったのか。なぜ二人は死ななければいけなかったのか。

たのかと、情けなさを悔やかせたのでいっぱいでした。

なぜ悟君と裕志君は、天王寺公園まで遊びにいったのでしよう。

なぜ、救之茶屋小学校校下の児童公園の出入口には鍵がかけられ、フェンスを乗り越えたり、すき間から無理に入り込まないか、子ども達が中で遊ばない状態にあるのでしようか。

今年2月7日の毎日新聞によると、労働者らがテントを張るなどして公園に住みつき始めたことから、地元町内会の要請もあり、大阪市公園局は「救之茶屋南」を除く三公園にフェンスを設置し、労働者

者の野宿」を締め出し、子ども達の遊び場を確保するためと報じています。

しかし、現実には子ども達も公園から締め出され、遊び場を失なっています。

また「救之茶屋中公園」は半分を児童公園に、他の半部分を労働者のためにと、公園の中央を、三メートルのフェンスで区分されています。子ども達は、釜ヶ崎のこの地域で、大人を見て、大人の中で育つていのに、大人は大人、子どもは子どもと分離しようとするのです。

問題は、公園にフェンスを張るのか、施設するとか、公園を大人と子どもに分離するとかいふことでは解決されないことだと思えます。何故、労働者が野宿するの

て、そのことを本当は真剣に考えていかねばならないと思ひます。そのでなければ解決出来な

金網で囲まれた公園で遊んでみて、まるで檻の中にいるよ

二人は生命をかけて、この地域に住む私達大人に、ぼくらの本当の気持を真剣に考へて、お

生活センターニュース

生活センター「リコー」 大府市と交渉を持つ

大府市と生活センターの交渉は、2月27日(土)に、大府市の福祉課長と生活センターの代表者との間で、大府市の福祉課に於いて行われました。

この日は、大府市の福祉課長、生活センターの代表者、生活センターのスタッフなど約20名が参加しました。

この交渉は、大府市の福祉課長と生活センターの代表者との間で、大府市の福祉課に於いて行われました。この日は、大府市の福祉課長、生活センターの代表者、生活センターのスタッフなど約20名が参加しました。

この交渉は、大府市の福祉課長と生活センターの代表者との間で、大府市の福祉課に於いて行われました。この日は、大府市の福祉課長、生活センターの代表者、生活センターのスタッフなど約20名が参加しました。

今日、本校で、呼吸に苦ついた。今は、まっすぐの視線で、呼吸をのべています。

——生活センターの先生へ

「この間、先生に話をしました。呼吸に苦ついた。今は、まっすぐの視線で、呼吸をのべています。」

——生活センターの先生へ

先生と子ども達の

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

今日、このお話のなかで、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

生活センターの先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

生活センターの先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

生活センターの先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

生活センターの先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

今日、このお話のなかで、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。

「公園であそびたい」と、先生と子ども達の話を伺った。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。先生は、子ども達に話を聴いて、公園で遊ぶ場所を探してあげることにした。